



令和 6 年度運営評議会

食品保健機能研究センター

▶ 背景・社会的意義等

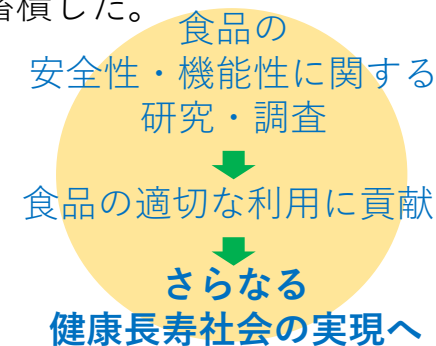
- 食品の栄養表示は、健康増進に資する食品を消費者が自ら選択するために重要な情報源である。栄養表示の信頼性を担保するために、法定業務を遂行し、そこで得られた知見等を基に食品栄養行政に資する調査・研究を実施する。
- 健康寿命の延伸に資するために、食事を踏まえた健康食品の適正利用に向けて、健康食品等に利用される素材及び成分について、利用実態を踏まえた健康影響評価に関する調査研究を実施し、エビデンスを構築する。
- 確かな健康情報を普及・社会実装するために、健康食品に関する正しい知識の普及と健康被害の未然・拡大防止を目的に、公正で科学的な健康食品の情報を安全性・有効性情報データベースに収集・蓄積し、効果的に国民に提供する。

▶ 目標・令和6年度実績・成果・課題

- 法定業務（収去試験・許可試験）を着実に遂行した。準法定業務として買上調査と外部精度管理調査を実施した。栄養成分等の分析方法に関する知見を収集し、公定法の改定に貢献した。
- 日本版栄養プロファイリングモデル加工食品版・料理版を2024年9月に公表した。食生活適正化技術開発のため、バイオマーカー測定と食事調査等により食事摂取状況推定技術を開発に資する研究を実施した。
- 健康食品の健康被害の未然・拡大防止を目的とした被害関連情報を取得し、タイムリーかつ継続的に発信した。また、健康食品の安全性評価や製造・品質管理等に関わる情報を新たに発信すると共に、健康食品素材の安全性・有効性に関する情報を蓄積した。

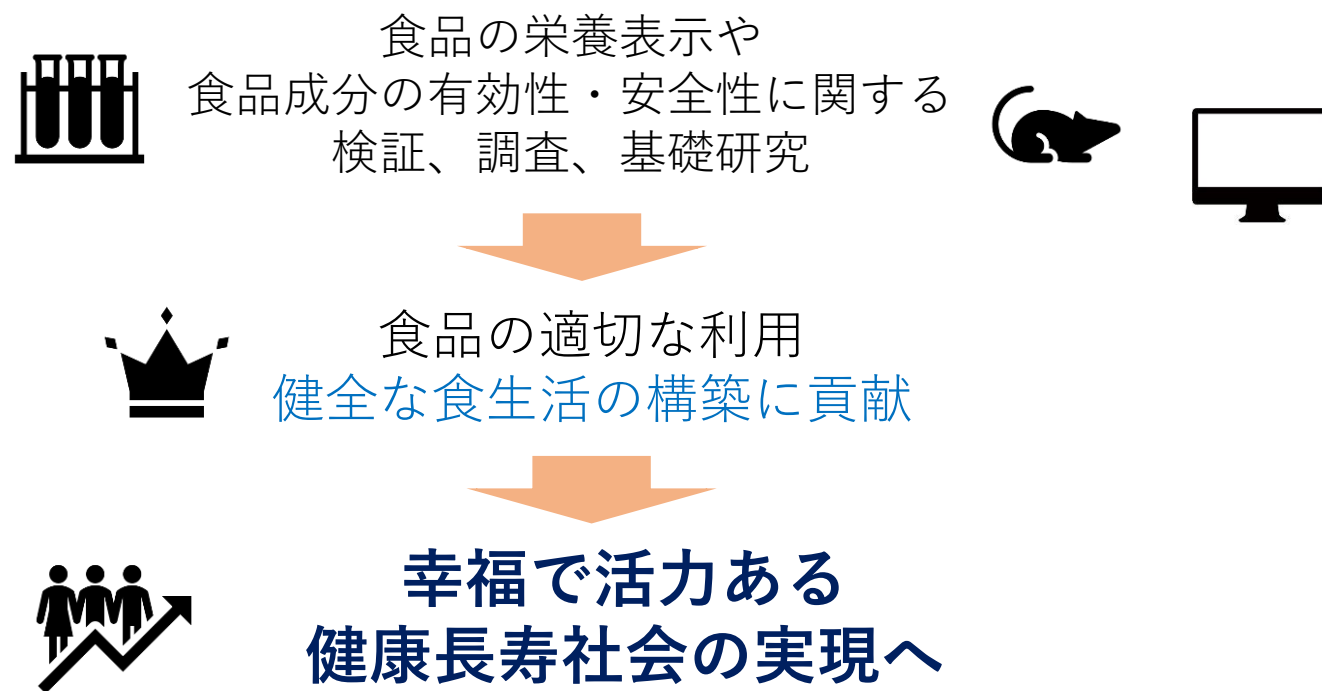
▶ ポイント

- 法定業務等を着実に遂行するとともに、栄養表示の信頼性担保に資する研究を実施した。
- 日本では整備されていなかった日本版「栄養プロファイル」を開発した。
- 「健康食品」の安全性・有効性情報サイトにおいて、ニーズに応じて改良を進めると共に情報発信を行った。



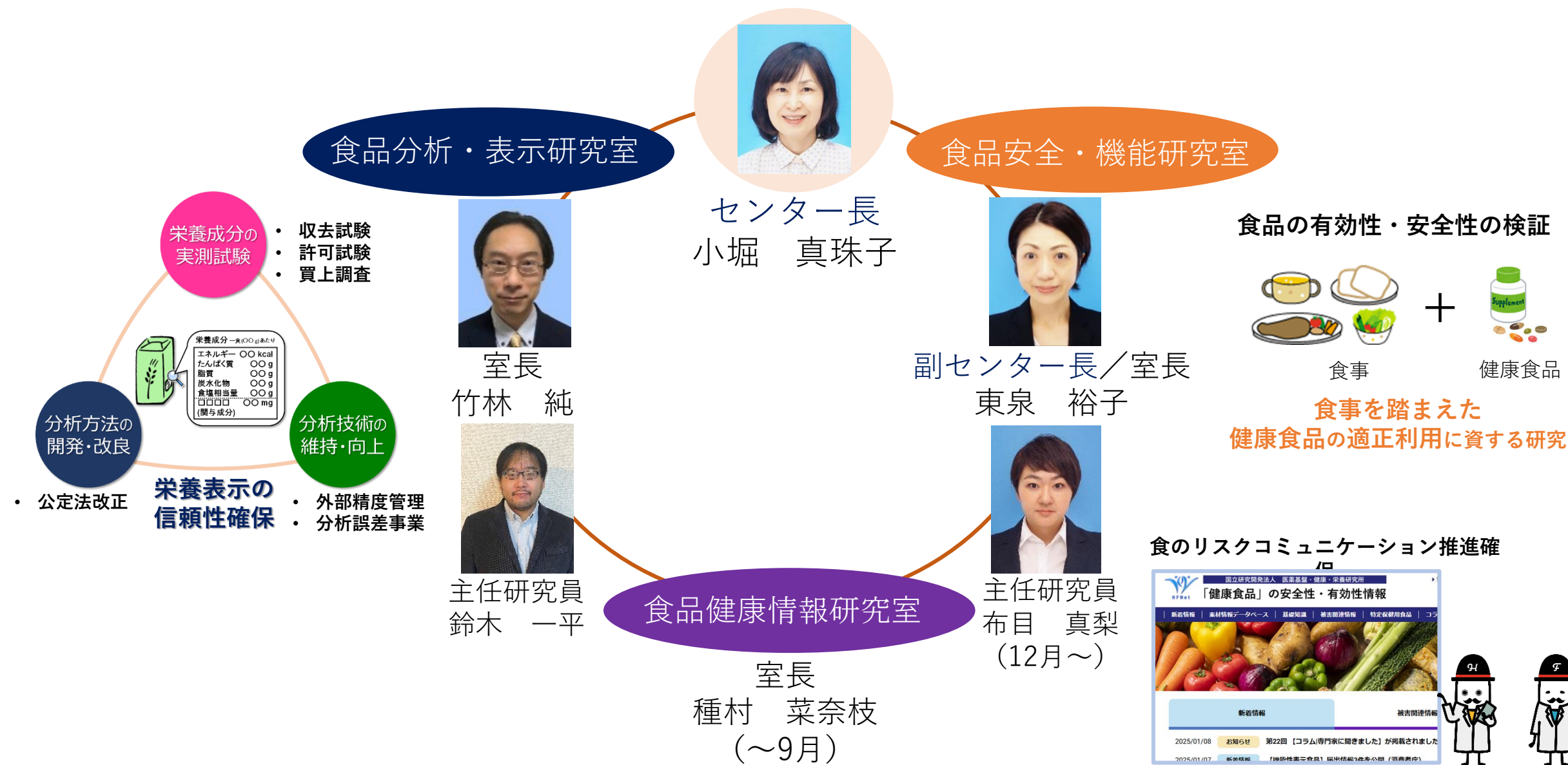
- 法律に基づき収去された食品の栄養成分分析や特別用途食品の許可等に係る試験業務の実施
- 食品表示の信頼性確保、食品の有効性や安全性の検証および情報提供等を通じた健全な食生活のための食環境の整備

化学分析と栄養・機能性研究で食品を科学し、安全で健康によい食生活に役立てる



厚生労働省、消費者庁、内閣府と連携して
業務・研究を遂行中

『食品保健機能研究センター』の研究プロジェクト（令和6年度）



▶ 収去食品及び特別用途食品の許可に係る試験業務

特別用途食品、特定保健用食品(トクホ)、機能性表示食品等に含まれる栄養成分や関与成分等の量を実測
→ **【ゴール】** 栄養成分表示値の信頼性を検証

令和6年度 実績

種類	買上調査※	許可試験等
特別用途食品 (特定保健用食品を除く)	2品	—
特定保健用食品	15品	1品
機能性表示食品	84品	—

※ 収去試験の前段階として実施：(一財)日本食品分析センターと消費者庁から共同受託

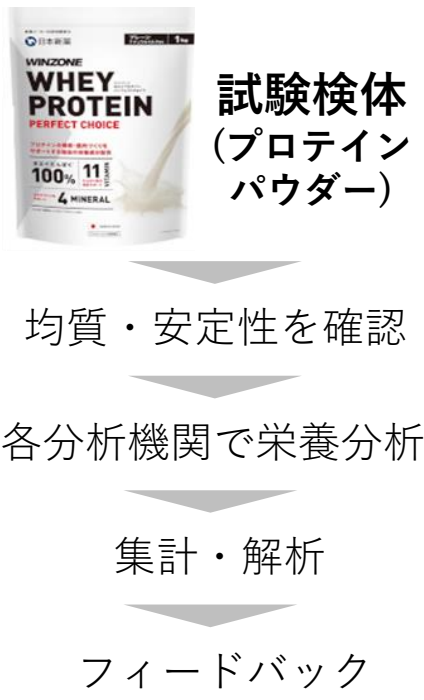
関連研究

- 加工食品の特性が栄養成分表示値の信頼性に及ぼす影響の解明 (科研費・基盤C)
- 生薬の栄養学的解析 (薬植セとの共同研究)

▶ 分析機関の検査精度の維持管理

同一の検体を複数の機関で一斉に分析して分析値を比較
→ **【ゴール】** 日本全国の分析機関の精度維持・向上 + 公定法における課題抽出

令和6年度 結果



項目	公的機関 (53)		民間機関 (27)	
	満足	疑わしい 不満足	満足	疑わしい 不満足
熱量	45	7	21	1
たんぱく質	45	7	26	1
脂質	48	5	14	9
炭水化物	48	4	20	2
食塩相当量	47	5	20	5
カルシウム	21	4	10	2
リン	22	3	8	2
ビタミンC	15	2	4	0

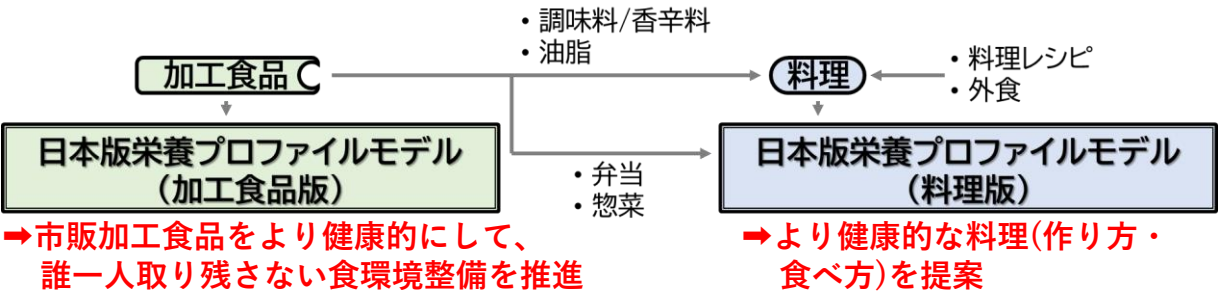
消費者が広く利用可能な情報源である「栄養表示」の信頼性確保に貢献

日本では整備されていなかった日本版「栄養プロフィール」を開発

中立・公正な立場から、我が国の食文化や栄養課題をふまえて、特定の栄養素等の含有量で総合的に食品の栄養価を評価するための仕組みを開発

● 日本版栄養プロフィールモデルの特徴

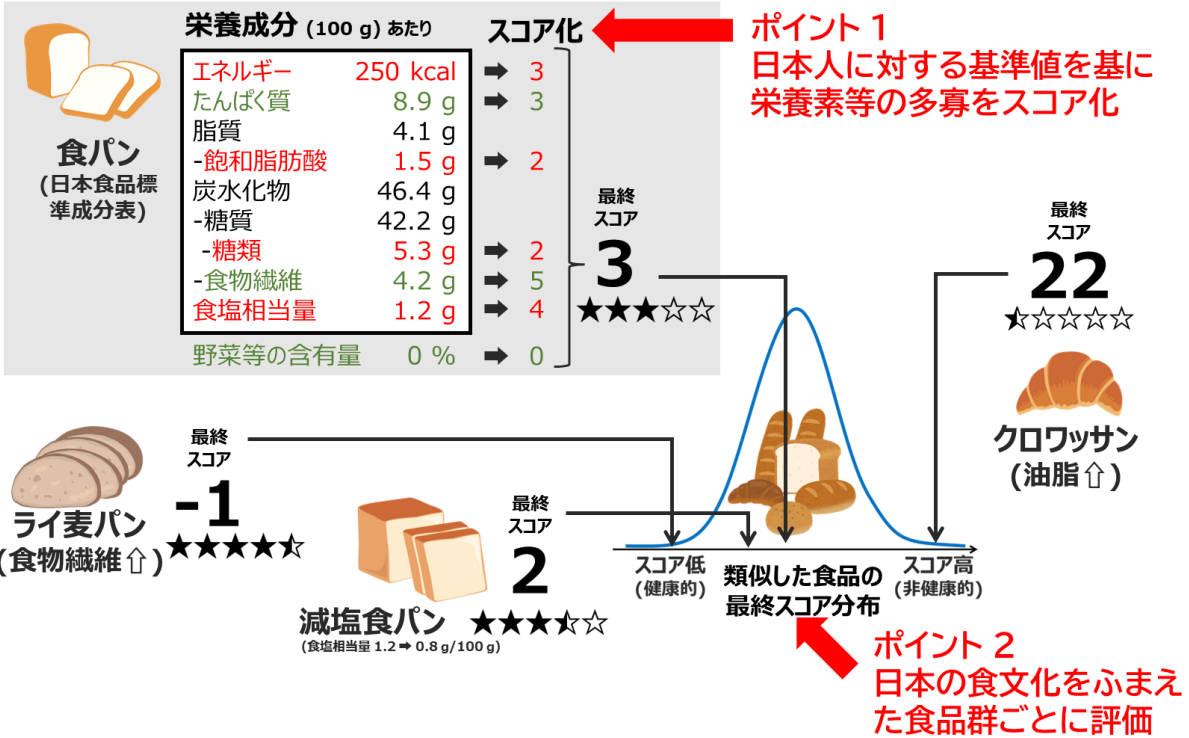
「加工食品版」と「料理版」の2つのモデルで評価を行う



● 栄養プロフィールの評価方法

- 栄養素等の含有量の多寡を、「日本人の食事摂取基準値」等を基にスコア化し、最終スコアに集計
- ✓ 摂取を制限すべき成分(エネルギー・飽和脂肪酸・糖類・ナトリウム)のスコアは**プラス**で集計
 - ✓ 摂取を推奨すべき成分(たんぱく質・食物繊維・野菜/果物等)のスコアは**マイナス**で集計
- 最終スコアを類似した食品及び料理間で比較し、相対的な栄養価を評価し、ランク付けを行う

● 日本版栄養プロフィールによる評価例

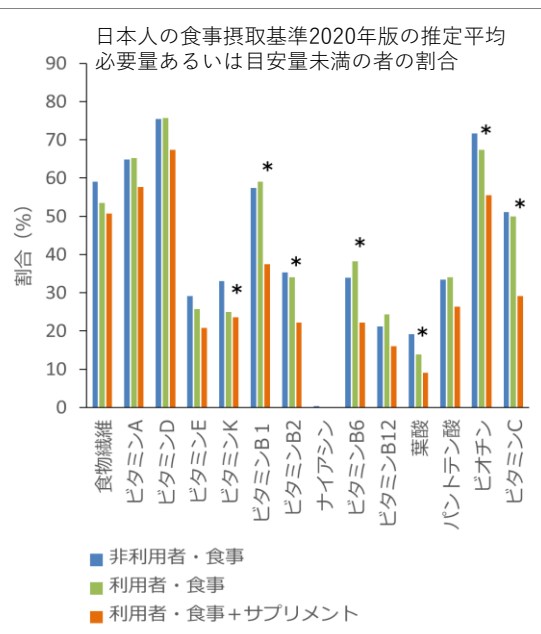


- どの食品・料理が総合的に栄養評価が高いか一目で判断できる
- 同じ名前の食品・料理でも、減塩などの工夫で評価が改善する

▶ ビタミン及びミネラルサプリメント利用者と非利用者における食事及びサプリメントからの栄養素等摂取量推定値の比較

- 日本人の3割以上が健康食品を摂取している
- 健康食品の栄養成分を収載したデータベースは整備されていない


 +
 
 = 栄養素等摂取量推定値 ?



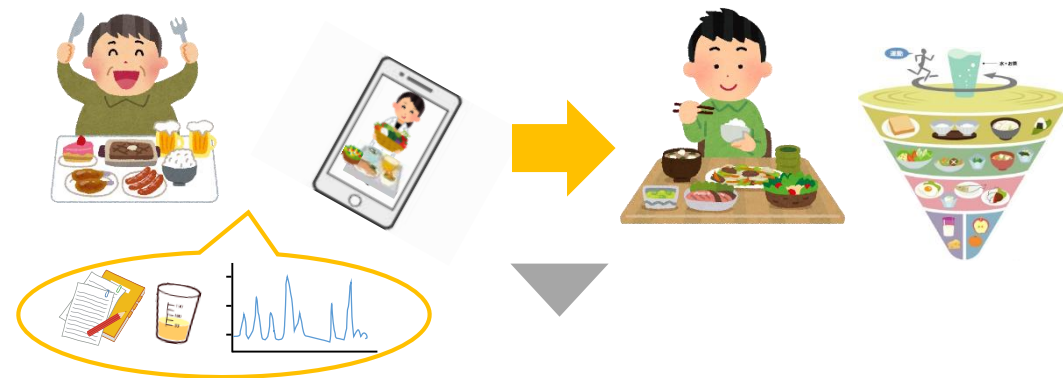
【目的】

ビタミン及びミネラルサプリメント利用者と非利用者において、食事及びサプリメントの栄養素等摂取量推定値を比較

- ビタミン及びミネラルサプリメントの利用は、栄養素の必要量を満たさない者の割合を低下させることが示唆された。
- 一方で過剰摂取のリスクに与与する可能性も示された。

食事を踏まえた健康食品の適正利用に貢献

▶ 食生活適正化技術開発のため、バイオマーカー測定と食事調査等により食事摂取状況推定技術を開発



尿中マーカー解明による食事摂取状況推定技術を開発

【社会実装】 食事バランス評価システムを検査事業として事業化



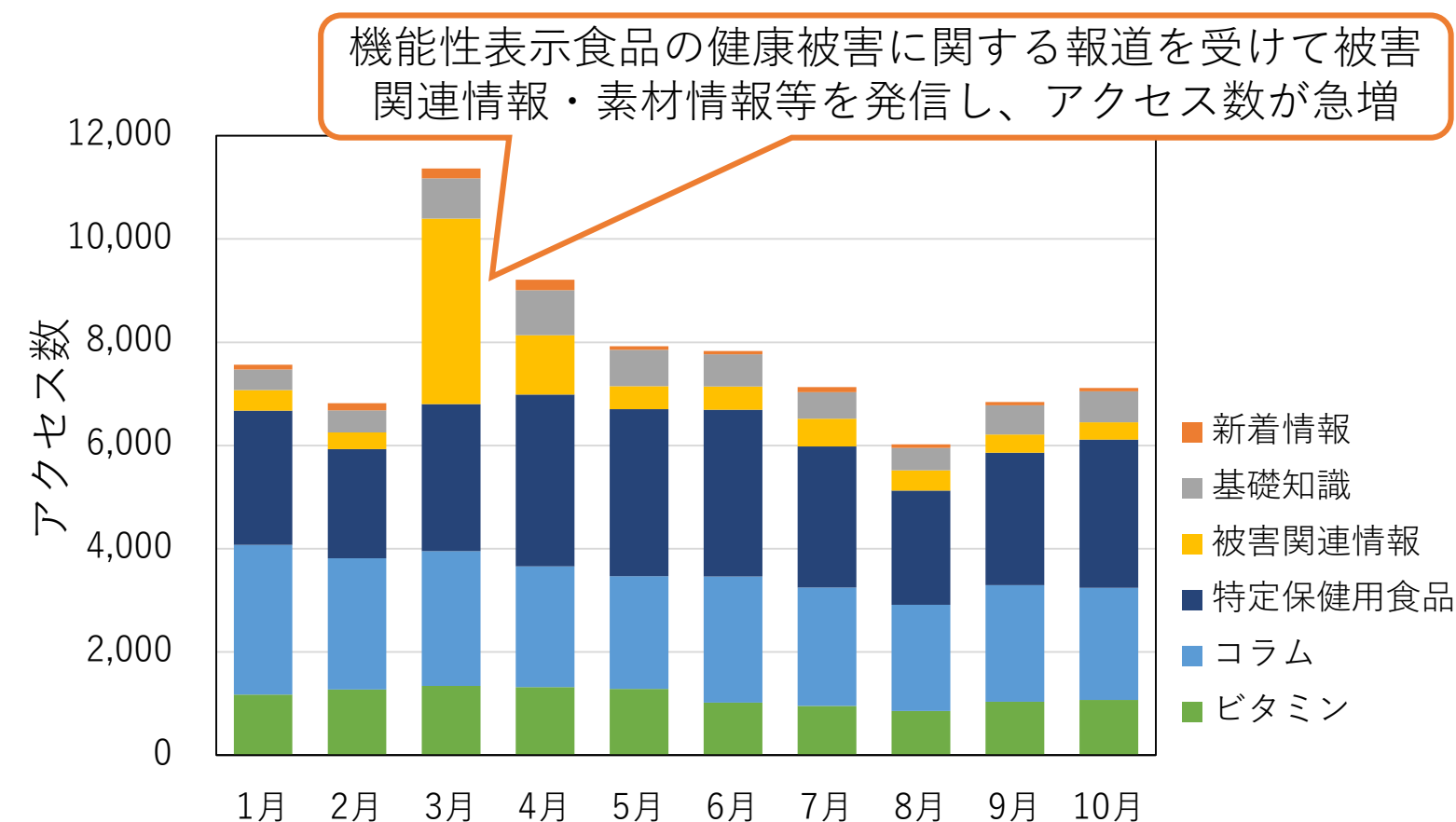
食事内容の乱れをバイオマーカーにより「見える化」

個人の食事バランスに応じた食事を提案



健康の維持増進・生活習慣病の予防に貢献

▶ 「健康食品」の安全性・有効性サイトによる正確な情報提供と健康被害の未然・拡大防止



えいち・えふ・ねっと（ニビオン）
8月6日・🌐

医薬品成分（タダラフィル）を含む製品に注意喚起（東京都）
東京都内の宿泊施設で販売されていた製品「Royal Honey VIP」から、医薬品成分（タダラフィル）が検出され、健康被害が報告されています。お持ちの方は摂取を中止してください。
詳しくは！
<https://hfnet.nibiohn.go.jp/.../%e6%9d%b1%e4%ba%ac%e9%83.../>

国内/健康被害

医薬品成分（タダラフィル）
を含む製品に注意喚起
（東京都）

HFNet

国内/注意喚起

特定ロットの使用可能性がある
紅麹関連製品に対して注意喚起
（厚生労働省）

HFNet

「健康食品」の安全性・有効性情報サイト（HFネット）のアクセス数

健康被害情報及びトクホに関する情報へのアクセスが増加

情報サイトと連動したSNSにより迅速
かつ分かりやすい情報を提供

フォロワー数は1万人を超えて増加中

▶ 今後の取組

- 法律に基づき収去された食品の栄養成分分析や特別用途食品の許可等に係る試験業務の実施
- 食品表示の信頼性確保、食品の有効性や安全性の検証および情報提供等を通じた健全な食生活のための食環境の整備

竹林グループ

品 質

分析技術の向上
栄養表示の信頼性確保

東泉グループ

エビデンス

食品の有効性・安全性の検証
より健康によい食生活の実現に資する研究

小堀（布目）グループ

情 報

食のリスクコミュニケーション推進
「健康食品」に関する情報発信

健全な食生活のための食環境の整備
健康寿命延伸に寄与する食生活の提案